



# 医療的ケア児等コーディネーターの配置・運用に関する モデル事業の進捗状況について (R4.3月時点)

神奈川県健康医療局保健医療部  
医療課地域包括ケアグループ

# 目次

- 1 令和2年度第1回会議について
- 2 令和3年度第1回会議について
- 3 令和3年度第2回会議について
- 4 令和3年度第3回会議について
- 5 令和4年度の実施について

# 1 - 1 令和2年度第1回会議（議題・論点）

- 令和2年度の到達点を検討  
（事務局の提案）
  - ・ コーディネーターの配置・運用にかかる課題を整理した上で、コーディネーターの役割・業務内容を策定する
- 横須賀・三浦圏域における医療的ケア児等の支援に係る取組みについて  
（検討の流れ）
  - ・ 横須賀・三浦圏域における医療的ケア児等の支援に係る取組みを報告の上、その取組みに対する課題を整理
  - ・ その中で、コーディネーターに求められる役割について検討

## 1-2 令和2年度第1回会議（主なご意見）

- コーディネーターの役割について
  - ・ ライフステージ毎に応じたニーズを把握できるように、「モニタリング」をしてほしい
  - ・ 各関係機関の連携を軸にした支援者支援、社会資源創出の支援などの地域支援が、コーディネーターの役割の基本的な軸となる
- コーディネーターの配置・運用に係る課題について
  - ・ 圏域単位の運営になるため、市町を超えた調整をどのように行うのか
  - ・ 支援者間の横の連携が必要
  - ・ 対象児をすべて把握できていない
- その他
  - ・ コーディネーターと支援者の情報交換、意見交換も必要であるが、コーディネーター間でも必要である
  - ・ コーディネーターの広報が必要（どのような役割なのか、何をやってくれるのか）

※ 令和2年度第2～3回会議を新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るため、中止とした。

## 2-1 令和3年度第1回会議（議題・論点①）

- 令和3年度の到達点、ロードマップを検討（事務局の提案）
  - ・ 令和4年度のコーディネーター運用試運転に向け、コーディネーターの役割・業務内容、配置・運用方法を検討
    - ※ 令和2年度の到達点を「役割・業務内容の策定」としたが、令和2年度第1回以降の会議を中止としたため、進捗に遅れが出ている
- コーディネーターの役割（事務局案）について

☞ 各種の相談に対応し、その相談内容から、

**「適切な各分野のサービス・支援に繋ぐとともに、必要に応じて助言を行う」**

☞ 医療的ケア児等とその家族に対して、総合的かつ継続的に支援を提供するため、

ケース毎に**「多職種連携ができるチーム」**の形成を促し、地域づくりに向けた課題の抽出・共有等を行う

☞ さらに、支援ニーズをリアルタイムで把握するため**「モニタリング」**を実施し、切れ目ない支援の提供を目指す

## 2-2 令和3年度第1回会議（議題・論点②）

### ■ コーディネーターの業務内容（事務局案）について

#### 1 スクリーニング

- ・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、必要な助言を行う

#### 2 地域づくりに向けた個別課題の抽出・共有及びモニタリング

- ・児とその家族の状態像や課題等を多職種の支援者間で抽出・共有する
- ・また、多職種の支援者間の連携、支援に係る課題等について、情報・意見交換する
- ・さらに、支援者と情報を共有し、医療的ケア児等の支援状況や課題をリアルタイムで把握する

#### 3 行政との連携

- ・各市町村・各圏域に設置されている医療的ケア児等の支援に関する「協議の場」や「児とその家族との交流会」等を通じ、把握した医療的ケア児等の課題を関係機関と共有する

## 2-3 令和3年度第1回会議（主なご意見）

- コーディネーター役割・業務内容について
  - ・ 役割・業務の内容は良いと思うが、少し負担が大きいのではないか
  - ・ 業務内容について、少し整理（もう少しシンプルに）が必要ではないか
  - ・ 既に似たような取組みを行っている機関もあるので、そことの連携が必要である  
ex.基幹相談支援センター、障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター
- その他（配置・運用について）
  - ・ 医療・福祉をはじめとした多職種がコーディネーターとして配置され、それぞれの専門性を活かせるような運用方法を検討する必要がある
  - ・ 業務の内容は多いが、複数人をコーディネーターとして配置し、お互いに協力して取り組めるような運用方法を検討する必要がある

# 3 - 1 令和3年度第2回会議（議題・論点①）

- コーディネーターの業務内容について（R3第1回会議を受けて）
  - ・ コーディネーターの業務内容について、支援者支援と地域支援の二本柱として、以下のとおり整理した

## 第1回会議での提案

コーディネーターの業務は主に…

### 1 スクリーニング

・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、必要な助言を行う

### 2 地域づくりに向けた個別課題の抽出・共有及びモニタリング

・児とその家族の状態像や課題等を多職種の支援者間で抽出・共有する  
・また、多職種の支援者間の連携、支援に係る課題等について、情報・意見交換する  
・さらに、支援者と情報を共有し、医療的ケア児等の支援状況や課題をリアルタイムで把握する

### 3 行政との連携

・各市町村・各圏域に設置されている医療的ケア児等の支援に関する「協議の場」や「児とその家族との交流会」等を通じ、把握した医療的ケア児等の課題を関係機関と共有する



コーディネーターの業務は主に…

## 個別支援・地域支援の二本柱

### 1 個別支援（受ける・繋ぐ・支える）

・医療的ケア児等とその家族及び支援者からの相談を受け付け、その相談内容から適切なサービス・支援に繋ぐとともに、支援者に対して助言を行う（支援者への支援）  
・医療的ケア児等とその家族及び支援者への継続的な支援を通して、状態像や支援等の状況を把握する（モニタリング）

### 2 地域支援

・個別支援を通じて抽出された課題等を、自立支援協議会等の医療的ケア児等の支援を協議する場で共有し、課題解決に向けた協議を行う



## 3-2 令和3年度第2回会議（議題・論点②）

### ■ コーディネーターの相談受付体制について（事務局案）

#### 案①：ワンストップ対応

相談窓口を1、2カ所程度設置し、ワンストップで受け付け、その窓口から、地域に配置されたコーディネーターへ繋ぐ

→ 各種相談の振り分け作業が煩雑か

#### 案②：共有・協議対応

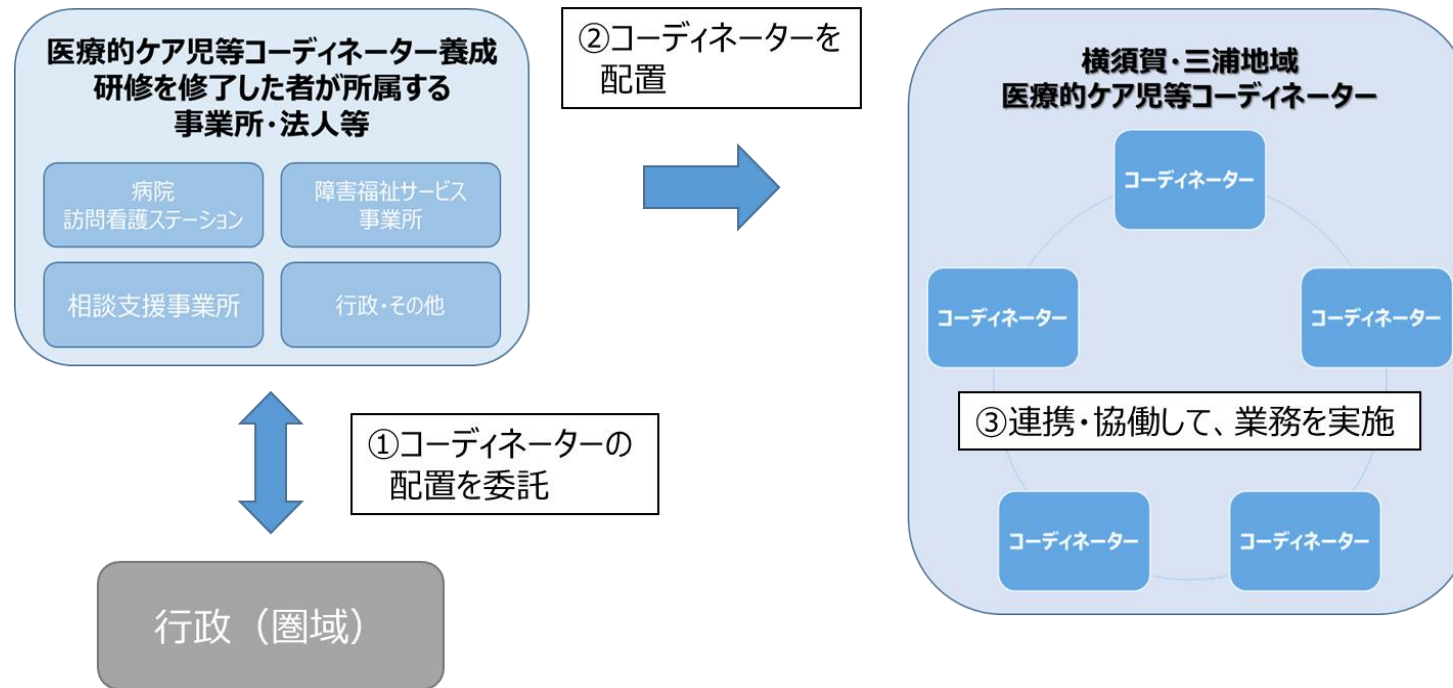
地域に配置されたコーディネーターそれぞれが相談を受け付け、その内容をコーディネーター同士で共有し、対応方針等を協議する

→ 各種相談について、共有・協議する体制・場が必要になる

→ 横須賀・三浦圏域においてどちらの体制が適切か

# 3-3 令和3年度第2回会議（議題・論点③）

## ■ コーディネーターの配置・運用方法について（事務局案）



○行政は、事業所・法人等に、「コーディネーター」の配置を委託する

・委託先は、医療的ケア児等コーディネーター養成研修を修了した者が所属する事業所・法人等を想定

・委託を受けた事業所・法人等は、医療的ケア児等コーディネーター養成研修を修了した者を「コーディネーター」として、配置する（複数名、配置することを見込む）

○配置された「コーディネーター」は、他のコーディネーターと連携・協働して実施する

## 3-4 令和3年度第2回会議（主なご意見）

- コーディネーター役割・業務内容について
  - 事務局案のとおり、合意を得た
    - ・ 一方で、旗振り、まとめ役が必要ではないかという意見があった（取組みに一貫性を持たせるため）
  
- コーディネーターの相談受付体制について
  - ・ ワンストップ対応する必要はない（振り分け作業が煩雑、専任ではないため）
  - ・ それぞれの専門性を活かすためにも、相談内容を共有し、対応を協議すべき
  - ・ 窓口は複数あってもよいが、所在を明確にし、広報が必要
  
- その他（配置・運用について）
  - ・ 配置について、アクセスの容易性の観点も考慮すべき
  - ・ 複数人をコーディネーターとして配置し、お互いに協力して取り組めるような運用方法を検討する必要がある

# 4-1 令和3年度第3回会議（議題・論点①）

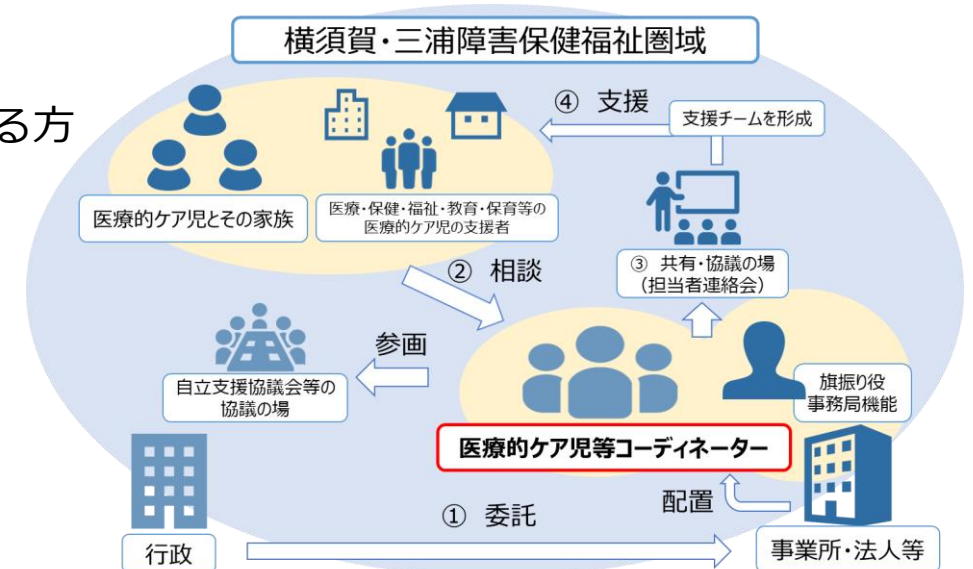
## ■ コーディネーターにおける旗振り役について（案）

### ○ コーディネーター（旗振り役）の役割、業務

- ① これまで検討してきた役割、業務内容の中で、特に地域支援を担当する
  - ・ 個別支援等から抽出された課題の解消に向けて、行政等が主催する自立支援協議会や協議の場等に参加（会議の内容等は、この他のコーディネーターに共有）
- ② それぞれのコーディネーターが受けた相談を共有し、対応を協議する場の旗振り
  - ・ 共有・協議する場の事務局を担う

### ○ 誰に担って頂くべきか

- ・ この地域の中核的な事業所・法人等
- ・ これまでのコーディネーター配置・運用の検討経過を理解している方



## 4-2 令和3年度第3回会議（議題・論点②）

### ■ 来年度のモデル事業について（スケジュールについて）

#### 【横須賀・三浦圏域】

##### ■ コーディネーターの配置・運用事業業務委託（試運転）

- ・ コーディネーターを配置し、これまで検討してきた内容のもと、コーディネーターを配置・運用する

##### ■ コーディネーター配置・運用業務に係る会議の開催（年2回）

- ・ コーディネーター配置・運用業務委託事業の進捗管理や課題等を整理の上、今後の運用等について検討する  
→ 出席者：コーディネーター、医療・保健・福祉・保育・学校等の関係者、行政

##### ■ コーディネーター・支援者連絡会の開催（年1回）

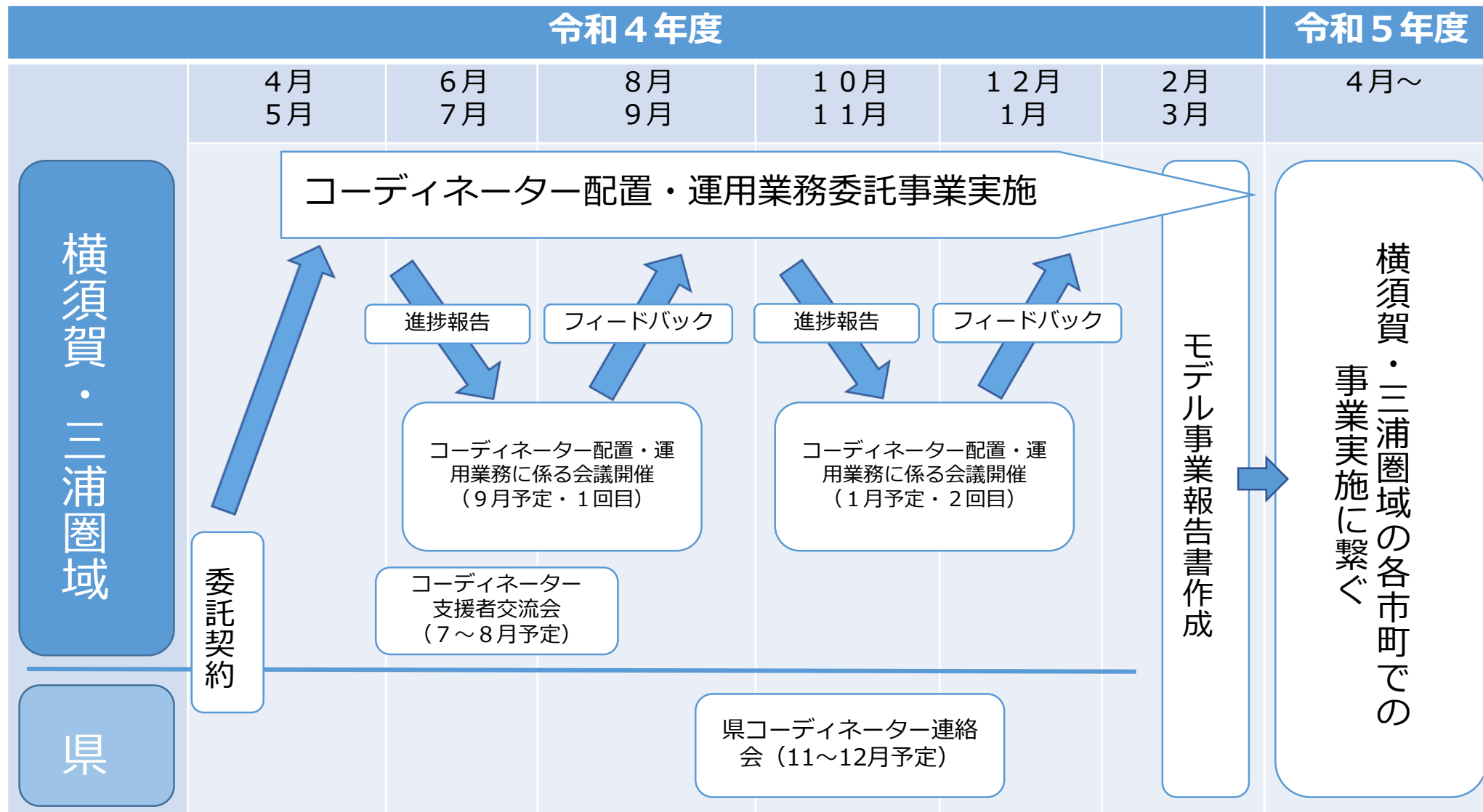
- ・ コーディネーター業務の円滑化を図るため、地域の支援者とコーディネーターによる意見交換を行う  
→ 出席者：コーディネーター、医療・保健・福祉・保育・学校等の関係者

#### 【県】

##### ■ 県コーディネーター連絡会の開催（年1回）

- ・ 県内のコーディネーターを集め、各圏域のコーディネーター状況の共有を行い、圏域を超えた調整に備えて連携体制構築を目的とした連絡会を開催する  
→ 出席者：県内全域のコーディネーター、行政

# 4 - 3 令和3年度第3回会議（議題・論点②）



## 4 - 5 令和3年度第3回会議（主なご意見）

- コーディネーターにおける旗振り役について
  - ・ 個別支援、地域支援を体系的かつ継続的に展開していくために、旗振り役は必要であるが、コーディネーター間の立場は水平的と考える
  - ・ 旗振り役とそれ以外のコーディネーターの経費（人件費等）の差別化が必要
  - ・ 協議の場等については、旗振り役がすべて参画するのではなく、負担を考慮しながら、コーディネーター間で検討するべき
  - ・ コーディネーターをまとめていくだけでなく、将来的にはその圏域全体をまとめる存在になってほしい
  - ・ 旗振り役は、本部として情報を集約し、コーディネート状況等を把握、整理できるとよい
  - ・ 各協議の場から抽出された個別課題を整理し、その課題がどこまで解消に向けられているのかというモニタリング等を継続的に行う旗振り役がいることが肝要
- 来年度のモデル事業について
  - ・ 令和5年度に本事業を県から圏域に引き継がれることになるが、予算を要求していくにあたり、事業の必要性等を整理しなければならない。
  - ・ 試運転に向けて、どのように各関係機関等との連携して実施していくのか検討が必要

# 5 令和4年度の取組みについて（案）

## 【医療的ケア児等コーディネーター配置・運用に係る試運転（5,940千円）】

### 配置・運用準備

#### 【4月】

- 旗振り役コーディネーターとの契約
- コーディネーター養成研修修了者・地域の関係機関等へ協力依頼
- 広報活動の検討

#### 【5月】

- コーディネーター(※)との契約
- 行政・コーディネーターとの連絡会
  - ・ コーディネーターのフォローアップ等
- 広報活動

※ 旗振り役コーディネーター以外の圏域のコーディネーター

### 配置・運用開始

#### 【6月～】

- コーディネーターの配置・運用試運転開始

令和4年度の取組みについて、この方向性で進めてよいか、ご意見伺います